

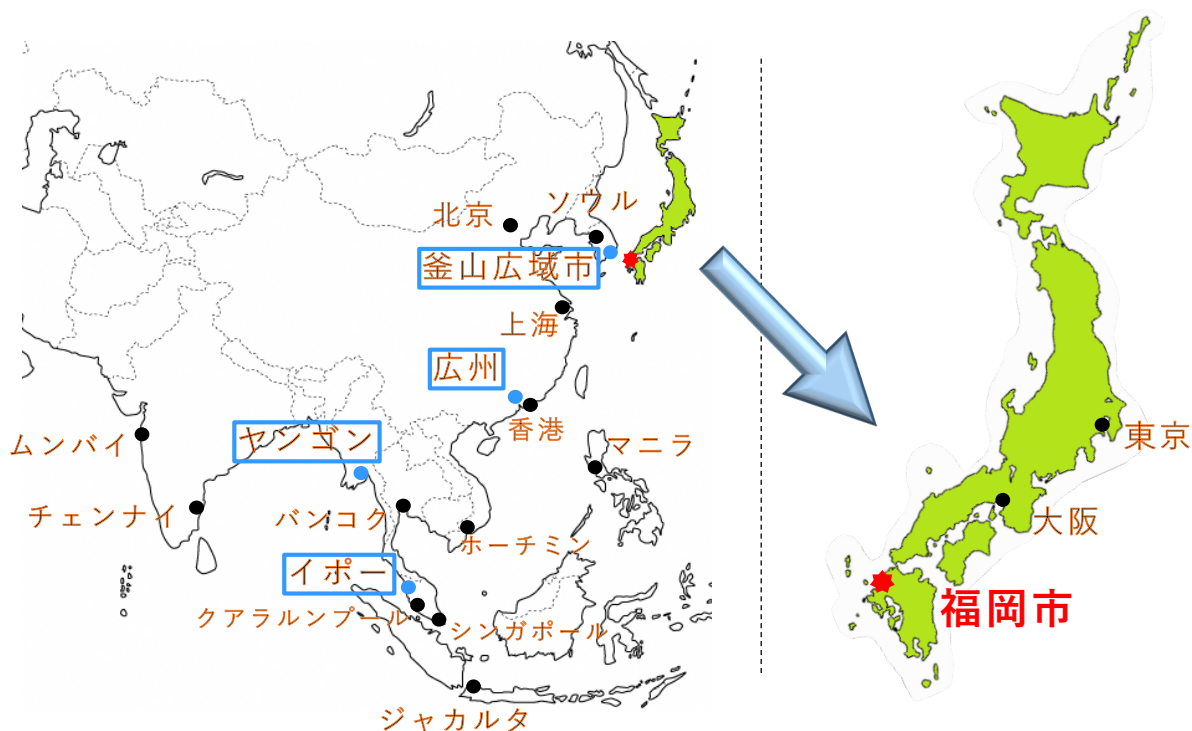
福岡市 国際視察・研修ガイド



福岡市について

福岡市は、古来より海外貿易の拠点として発展を遂げ、現在では、国の行政機関、大企業の支店、外国公館、国連機関、金融・サービス業等が集積し、西日本の拠点として発展を続けています。

また、空港、会議施設、市街地が半径2.5km圏内に位置するほか、都心部に神社・仏閣や海浜リゾート、最先端のショッピング施設などがコンパクトにまとまっており、日本の伝統と新しさが調和した魅力あふれる都市です。



 の4都市は、福岡市と姉妹都市を締結しています。

〔市面積〕 約343 k m² 〔人口〕 約166万人 〔市長〕 高島 宗一郎 〔平均気温〕 19.0℃

国際視察・研修について

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上と都市の成長の持続的な好循環を創り出すこと」「多様な人材が育ち、集い、チャレンジできる環境を作ること」「福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担うこと」の3つを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力が高い次元で調和したアジアのリーダー都市」の実現をめざして、まちづくりを進めています。

日本全体が人口減少社会を迎える中、福岡市の人口は増え続けており、企業の立地や創業が進み、近年の市税収入は毎年過去最高を更新し続けています。97%を超える市民から住みやすいまちとして高く評価され、国内外から多様な人材が集まってきています。

こうした福岡市の取り組みを海外に広く紹介するため、「都市景観」「福祉」「水資源」「環境」「防災」の分野を中心に、対面での視察やオンライン研修の受入対応を行っています。

〔視察・研修事例〕

分野	福祉
団体種別	公益法人
人数	30名

分野	防災
団体種別	国際機関
人数	14名

分野	水資源
団体種別	行政機関
人数	12名



福岡市認知症フレンドリーセンターにて、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」や「認知症の人にもやさしいデザイン」等の取り組み説明を受けた後、認知症の人の視野感覚をAR(拡張現実)で体験しました。

博多駅地区浸水対策事業「雨水整備レインボープラン博多」の主要施設である**山王雨水調整池**を視察し、道路下水道局の職員より施設の概要や福岡市での浸水対策の説明を受けました。

多々良浄水場における、一連の浄水処理工程の説明を受けた後、水源の特徴に合わせて導入をしている「高度浄水処理施設」を水道局職員の案内の下、視察しました。

福岡市のまちづくり

下記分野以外につきましては、個別にご相談を承ります。
ご相談の受付については5ページをご覧ください。



都市景観

～都市デザインに配慮したまちづくり～

地域特性を活かした魅力ある都市景観の形成を図るため、市民や民間事業者との共働によるまちなみづくりを推進し、歴史資源等を活かしたまちづくりに取り組んでいます。また、埋め立てによって新たに生まれたアイランドシティでは、都市景観に配慮しながら、環境共生のまちづくりなどを進めています。



イラスト提供：日本ユマニチュード学会

福祉

～認知症フレンドリーシティ・プロジェクト～

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、

「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を推進しています。この取組みを集約した拠点施設として、2023年9月に「認知症フレンドリーセンター」を開設しました。センターでは、認知症の人や家族等からの相談対応に加え、認知症の人同士の交流や活躍機会の創出、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」等の研修開催、ARを活用した認知症当事者体験などを行っています。

ユマニチュードについては地域、企業向けや児童生徒向け講座の実施など市内への普及促進を図るとともに、海外へのユマニチュードの発信にも取り組んでいます。



福岡市のまちづくり



中部水処理センター



水道局水管理センター



ごみ焼却処理施設
クリーンパーク・臨海



「福岡方式」実地研修



災害対策本部室



防災・減災教育

水資源

～水資源を大切にするまちづくり～

水資源の有効利用を図るため、下水処理水による再生水利用を推進しています。また、計画的な漏水調査や配水管の更新を行うとともに、配水調整システムによる効率的な水運用を行うことで、世界トップの漏水率の低さを維持するなど、節水型都市づくりを推進しています。さらに、安全でおいしい水道水をお届けするため、国の基準等より厳しい独自の水質目標を設定し、徹底した水質管理を行っています。



環境

～環境に優しいまちづくり～

家庭ごみの適正排出の徹底、夜間収集による効率的な収集運搬、処理施設の機能維持など、廃棄物の適正処理の確保に努めています。また広域的な取組みとして、廃棄物埋立技術「福岡方式」の普及促進など国際貢献・協力を推進しています。



防災

～安全安心のまちづくり～

近年、激甚化、頻発化している自然災害に対して、防災関係機関との連携による全庁的な災害対応訓練を実施するなど、災害対策本部機能の強化に取り組んでいます。また市民ニーズが高い出前講座等による防災・減災教育や、防火・防災管理に関する講習等を行っています。



申し込み・問い合わせ先



公益財団法人 福岡アジア都市研究所

URL : <https://urc.or.jp/>

TEL : +81-92-710-6441

Mail : training@urc.or.jp

住所 : 〒812-0011

福岡市博多区博多駅前2-8-1

博多区役所10階



URC Visit and Training



- お申込みは、希望日の1ヶ月前までに窓口を担当する上記URCへ、電子メールでお問い合わせください。
希望日の1か月未満での視察・研修お申し込みの場合も、ご相談ください。
- URCが皆さまのご希望・ご予約にあわせて、訪問先、レクチャー内容など国際視察・研修プログラムをカスタマイズいたします。
- ご連絡いただいた後、訪問先、レクチャー内容、日時など詳細について打ち合わせさせていただきます。
- 対面視察、オンライン研修ともに実施しております。
- 研修当日の視察や研修は、日本語で行いますので、必要な場合には必ず通訳を手配してください。
また、視察先への移動手段につきましても、皆さまでの手配をお願いいたします。
- 本資料に記載のほか、その他のご要望につきましては、ご相談ください。